

施設関係者評価実施報告書

令和 6年 3月 18日

報告者氏名

米須 江利子

評価者氏名

小林 みぎわ

①全体評価

今年度は新型コロナウイルスが第5類へ移行し適切な教育保育環境整備の下で日常の保育が行われた。行事も開催され3歳児、4歳児、5歳児は公開保育が行われ保育の研鑽を積んだ。5歳児は行事の中心的存在として活躍し、卒園式で立派な姿が幼児の終わりとして見受けられた。今後、架け橋プログラムの創設など村と相談して取り組んでもらいたい。

②学校評価の個別評価(例)

教育課程・指導

「全体的な計画」「教育課程」の下、各指導計画が策定されていて、又それに沿って各学年の発達に即した教育・保育が推進されている。

保健管理

看護師の指導の下、感染症予防、衛生管理に対応され、毎月の保健だよりで保護者へ周知もされている。

安全管理・災害への対応

避難訓練、業者による施設点検もきちんとされている。園バスに安全装置が取り付けられた。

特別支援教育

個別の支援計画が作成され保育を行っている。巡回指導をととして保護者・村との連携がとられている。

小学校との連携

現行のままでアプローチカリキュラムが行われている。村の架け橋プログラムの作成期待する。

村こども園係、村教育委員会の園視察が行われたことは評価できる。次に小学校教員の視察を望みます。

研修(資質向上の取組)

園内研修、外部研修、キャリアアップ研修が定期的に行われた。オンラインの活用はよいと思われる。

教育目標・学校評価

年・月計画の評価がきちんとされている。保護者アンケート、施設関係者評価がされている。

情報提供

基本的な情報はホームページに掲載。園だよりや保健、食育だよりは玄関掲示やICTを利用し情報が提供された。

保護者・家庭との連携

おたより帳はICTを利用した。同上による保護者への連絡をこまめにして保護者の行事参加も行われた。

子育て支援

主幹教諭を中心に看護師と栄養士と連携し感染症やアレルギーの情報提供や相談対応ができていた。

延長保育・預かり保育

利用者は少ないが、利用者には適切に対応している。

食育と食事の提供

栄養バランスが取れた給食が提供されている。栄養士と連携して食育行事も行われている。

③その他必要な評価

公開保育

3歳児、4歳児、5歳児の公開保育が行われたことは評価できる。認定こども園では継続して行ってほしい。

地域への行事への参加

高齢施設との交流、じゃがいも堀等へ参加した。新年度への様々な参加が期待される場所である。

不適切な保育への対応

新年度職員全体会議とともに7月には虐待予防、不適切な保育を予防する研修がなされている。

④課題と検討

乳児保育は保育の担当制を行っており、園児ひとり一人を大切に丁寧かつ真摯な保育に邁進していたきたい。また幼児教育は公開保育をととして幼児期の終わりの姿、小学校の接続につなげてほしい。昨年全国で問題になったバス等への対応や不適切な保育については、園バスへ安全装置を取り付け、不適切な保育、虐待については定期的な職員研修が行われており評価したい。引き続き安全対策の体制強化に努めていただきたい。